

北海之光

5月号 北海道教区報

ハレルヤ 新しい歌を
主に向かって歌え
詩編 149編 1節

発行所 北海の光社
001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12
日本聖公会北海道教区事務所
電話 011-717-8181
FAX 011-736-8377
E-mail:hikari@nssk-hokkaido.jp
http://www.nssk-hokkaido.jp
発行人 笹森田鶴

北海道教区の皆さまにご挨拶

北海道教区主教 マリア・グレイス 笹森 田鶴

北海道教区の神の家族の皆さまにご挨拶申し上げます。

去る四月二三日復活後土曜

日、北海道教区主教座聖堂札幌キリスト教会にて首座主教・九州教区主教ルカ武藤謙

一師父並びにご臨席の主教方により主教接手を受け、第九

代北海道教区主教に就任いたしました。皆さまと新しい神

の家族になるため、そして北海道の地にて宣教活動をご一緒するために参りました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ご存知の通り、ほとんどの方々とは初対面です。けれども

も昨年の臨時教区会以来、皆さまが祈って待っていてくださり、暖かくお迎えくださっていることに私はただただ感激し、励まされて今を過ごしております。これから各教会・

伝道所、幼稚園、保育園、サポートセンター、また諸団体で

ご一緒し、「はじめまして」から始まる交わりの中で出会

い、主に従い、喜びや困難を共に分かち合っていきたいと願っています。

皆さまは、北海道教区を二五年もの永きに亘り、深く、強く、暖かくお導きくださいました植松誠主教さまとお別

れしたばかりです。深い感謝と同時に、心に大きな穴が空いたお気持ちでありましょ

う。それは植松主教さまや植松三千代さんのお交わりが、神さまに祝福されたすばらしいものである証しです。どうぞそのお気持ちを大切になさってください。神さまこそがその寂しさを受け止め、慰めてくださいます。

そして変化の時は共同体が不安定さを抱える時であることを前提に、私たちは恐る恐る出会い、北海道教区の新しい歩みを進めていきます。

大地における現代の宣教の使命を明確にし、ますます力強くその営みを主と共に継続していくために一五〇周年の記念に向かっていきます。

同時に、私たち北海道教区は、日本聖公会全体の福音宣教の活性化を目的とする教区再編並びに教区協働への貢献を求められています。まず東

北教区の皆さまと、そして次に北関東教区・東京教区の皆さまとも一緒に、東日本宣

教協働区の教区再編・宣教協働に取り組んで参ります。

北海道教区にとって大いなる恵みとなるう、これらの歩みをご一緒するために、皆さまの声を私にどうぞ聴かせて

ください。直接お会いし、皆さまの物語を伺うことを心待ちにしております。そこから

私たちはスタートします。聖霊の風が私たちを新たに

してくださることを切に祈り求めます。今だけが新しい時

なのではなく、私たちはこれから主によって日々新たに

されていきます。互いの不安さを共有することからはじめ、主だけが私たちの道程を

示されるお方であることに信頼し、共にみ言葉に聴き、折り合い、サクラメントに養われ、主に忠実な神の家族となっていきたいと願っております。そして北海道教区を用

いてこの世界に福音を示すとされる主の道を皆さまと歩んでいきたいのです。その道程で必ず主は私たちに恵みと喜びを与えてくださるでしょう。

歴史は特別な人びとによって形成されるものではなく、私たち一人ひとりの日々の物語の積み重ねが織りなされて作られていきます。その積み重ねが神の思いと重なる時、私たちは神の歴史の担い手、語り手となります。私たちの

生活の只中にある教会らしい、ひとつひとつの小さな出会い、ひとつひとつの小さな出来事に光を当て、希望を見出し、福音の喜びを伝えるものとして神の歴史の時を歩んで参りましょう。そのために北海道教区の皆さまと共にある教区主教としての献身を心に刻み、皆さまへのご挨拶とさせていただきます。主に感謝。



心の窓をひらくー
福音と私(二五八)

ー今、なぜ、私はキリスト者として生きるのかー

稚内聖公会信徒

ベタニヤのマリヤ 本原満栄

私の好きな聖句

「わたしたちのために十字架につけられ、苦しみを受け」

(祈祷書・ニケヤ信経より)

私の実家は、母方の両親が大正初期に福井県から中頓別町の敏音知に来て、浄土真宗のお寺を建てました。昭和二十二年春、父が満州から戻ってからは稚内の浄土真宗のお寺を菩提寺に護っています。中学卒業頃まで、母とともにそこのお寺へ行つてちよつとした手伝いや幼い子どもたち

の世話をして、講話や説教もよく聞きました。おほろげに少しは仏教のことも理解できたように思います。キリスト教との出会いは高校二年生の七月に、一枚のパンフレットを受け取ったのが始まりです。私より少し年上の明るい女性が松葉杖を支えにして立っていました。その方、千鶴さんは日本キリスト教団の信徒さんでした。私は千鶴さんに誘われて、集会や宣教師宅の家庭集會に高校卒業まで時々参加しました。千鶴さんは二〇代後半から札幌の日本キリスト教団の教会の一つに住まわれてご奉仕され、お世話になっていられるようです。今はお互い高齢になって、手紙もあまり書かなくなり、時々電話で話し合う交流

を続けています。

私は高校卒業後、旭川の歯科医院で三年六ヶ月程仕事をしました。その間、二、三ヶ月に一度の休みの日曜日に職場から七条くらい離れた教会の礼拝に出席しました。多くの人、世代を超えた人の考えなどもどんどん吸収した気持ちになりました。また、ラジオのキリスト教・聖書講座やルーテルアワーの放送を聴き、解らないことを文章で送り、教わり、理解を深めることができました。稚内に戻ってきてからも、一二年くらい旭川の教会へ献金を送り続けていました。

稚内に戻り、結婚してからは稚内の教会にはどこへも出かけなかつたのですが、潮見町に住み、こんな近くに教会があるとわかり驚きました(*)。けれども私の心の弱さゆえ、夫にも新しい家族になった両親や妹たちにもキリスト教や教会のことは言えず、ひとりの時に聖書を読んだりして過ごしていました。それから一二年あまりの間に夫の家族は旭川へ引っ越し、

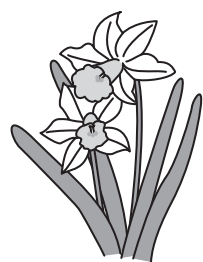
私たちも三人の子どもに恵まれました。教会には長女が小学校一年生になった頃から近隣の長女の友人と日曜学校に行きだし、次女もついて行くようになりました。そのうちに子どもを集まりをお手伝いすることを通して司祭や奥さんとも言葉を交わすようになり、教会へ行く機会が少しずつ増えていったのです。

こんなふらふらした過ごし方の私でも、不思議なことにたくさん体験しました。まさに九死に一生と例えられる出来事で、私が四二歳のときの一〇月九日、夕方に自宅前の横断歩道を渡っていると、突然酒酔い運転の車にはねられたのです。事故を目撃した人の話によると、私の体は一〇メートルくらい飛ばされたそうです。しかし私にはその記憶はまったくありません。憶えていることは、私がぼーっと夢の世界にいて、白い衣のようなものをまとった老人が杖を持ち、弟子のような身なりをした二人とともに絨毯の形のような布に乗り、真っ青な空を目指して飛んでいるの

を見ていることです。私はどうしたのだろうとまどつてみると、気がついたら私の瞳孔に救急隊の人がペンライトを当てていました。それからまた記憶がなくなり、次が目覚めたときは病室でした。尾てい骨骨折と全身打撲という大怪我で二ヶ月弱入院しました。日々少しでも進歩して身体に良いことを実行しようと心がけてリハビリに励み、完全に歩けるようになったのは事故から八ヶ月後でした。

それから私は、近隣の同年代の人と話し合う場を広げ、ひとつでも役立つことがあればと考えながら、両親がよく言っていた「自分に厳しく他人に優しく」という言葉を時々思い出し、毎日を通して

しています。
*編注 本原宅と教会との距離は直線距離で八〇メートルほど。徒歩一分の距離。



常置委員会報告

第六回 四月一日

《協議事項》

- 一、「笹の墓標記念館巡回展」への後援に関する件
- ・北海道教区として後援を行う事とした。
- 二、主教按手式に関する件
- ・レセプション関係、按手式に関して再確認をした。
- 三、信徒奉事者推挙に関する件
- ・釧路聖パウロ教会推薦のミカエル前田博美さんを推挙した。
- 四、「教区礼拝」に関する件
- ・五月一四日(土)一〇時三〇分より札幌キリスト教会を会場に開催。食事、ミニバザーは行わない。
- ・説教者：マリア・グレイス 笹森田鶴新主教。
- ・新主教をお迎えし、聖餐式を共に捧げる事を大切にする事とした。
- 五、春季教役者会に関する件
- ・教役者会を開催することとした。
- ・場所は札幌近郊とし、一泊

とする。

六、主教巡回に関する件

・各教会に希望日を出して頂き調整する事とした。

七、ニセコの土地に関する件

・管財委員長が、聖マーガレット教会に赴き状況を説明することとした。

堅信式受領

おめでとう

札幌キリスト教会

ジョン 山下 慎二

エリサベツ 佐藤 節子

リベカ 和田 恵子

(四月二四日)

十 教区逝去教役者 記念聖餐式

六月八日(水)

午前一〇時三〇分

於 主教座聖堂

次の方々を覚えて祈ります。

司祭 渡 邊 英 治

一九八三年六月一四日

伝道師 元 城 佐吉郎

一九二四年六月二八日

執事 本 田 憲 之

一九一八年六月三〇日

マリア・グレイス 笹森田鶴師 主教按手式・北海道教区主教就任式

2022年4月23日午前10時

北海道教区主教座聖堂 札幌キリスト教会

北海道教区の新しい歴史が始まりました。

昨年一月三日に行われた臨時教区会(主教選挙)で当選された笹森田鶴師が、当選から半年を経て、公会の主教に按手され晴れて新しい教区主教に就任されました。コロナ禍が続き、行動が制限される中で、戸惑いと不安を抱えつつ、また東京教区での司牧、諸課題に取り組まれている中で、祈りに祈って決断された就任受諾であったことでしょう。主のお招きに応えようとされた笹森師は、前任者の植松誠主教様と引き継ぎなどの準備を重ねられ、またお仕事をされているご家族の今後のことを含め、たくさんの決め事とご準備を重ねて迎えられる

たこの日でした。

按手式実行委員会もまた永谷司祭を中心に、度重なるZOOM会議を経て課題を一つひとつクリアしていきました。何しろ二五年ぶりの按手式ですので、前回経験した現任聖職はわずか二人で、最近の他教区の按手式を参考にさせていだきながら手探りで準備を進めました。最大の課



主教 マリア・グレイス 笹森 田鶴 師



式文とプレゼントのファイル



説教者 五十嵐正司主教

題は、出席者数を制限しなければならぬこと、どのような基準で行うかでした。出席を希望する教区内外の信徒、教役者は、海外からの出席希望者を含めて三〇〇名以上になると予測されました。それを一二〇名前後にするため、出席が叶わない方々にはクオリティの高い遠隔視聴を提供する必要がありました。また、出席できない教区の信徒に代わって、各教会のバナーが掲げられました。いくつかの教会では集まって視聴し、共に祈り、まさにオール北海道教区として開催した接手式・就任式でした。

司式は九州教区主教の武藤

謙一首座主教様でした。また、換気を十分に行いながら、聖歌、聖霊を求める歌が主教団、会衆によって歌われました。説教は前九州教区主教の五十嵐正司主教様が担われ、笹森師の大学院時代の教会の牧師だったご関係が紹介され、聖職を志した頃のこと、主教に選ばれた際の多くの人々の歓びの声に触れました。同時に、主教職を担うことの重責や畏れ、苦勞も避けて通ることではできないものとして、受胎告知の際のマリアの心情と現在の笹森師の心情が重なることを話されました。経験したことのない不安や緊張に直面したマリアが、それでも「主のお言葉通りになりますように」と告白した時、助けを求めてエリサベトを訪ね、彼女もまた懸命にマリアを支えようとしたことに注目されます。笹森師もたくさんのお困惑や緊張があったとしても、師の周りにはたくさんさんのエリサベトがおられると語られました。

会衆の祈りの前に、正服の



主教団による接手



会衆の祈り

一部として赤いストールが、前任者の植松主教様から笹森師にかけられ、その後、主教団が笹森師を囲み、頭に手を置いて聖霊の注ぎを願い求め、笹森師は主教に聖別されました。主教の正服、指輪、クロスを身につけ、聖書と牧杖が武藤主教様に

よって渡され、主教座に導かれて新主教は北海道教区第九代教区主教として着座されました。長い時間、拍手は鳴り止みませんでした。それは、祝福と主教職への期待と、自分もエリサベトになって新主教を支えたいという願いなど、いろいろな思いが入り交じった拍手でした。マスクの下で、多くの出席者が笑顔で、また涙でこの瞬間を迎えました。

その後、新主教を中心に、主教団が囲み感謝聖別が行われました。手を置いた時と同じく、この場面がとても感動的だったという声が寄せられました。



主教着座



感謝聖別

陪餐後の祈りが終わり、来賓、ご家族の紹介がありました。武藤首座主教様は祝辞の中で、祝福の言葉と共に、

し、日本で、東アジアで初の女性主教であるが故の困難があるならば、主教会はそれを共に課題として担っていき



笹森新主教による祝福

東アジアで最初の女性主教で

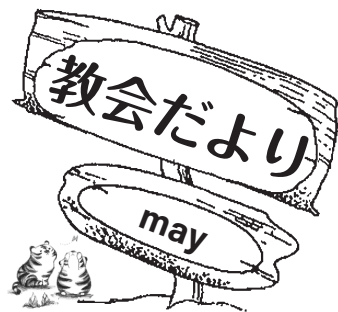
いと新主教を励まされました。そして、笹森新主教から就任の挨拶があり、前任者の植松主教様への深い敬意を示され、神さまの導きを信じながら、広大なパリスシユを持つ北海道教区において、これから信徒、教役者と共に新しい神の家族を作っていくたいと語られます。そして宣教協働や教区の再編については、始めに東北教区との協働、次に東京教区、北関東教区との協働、東日本宣教協働区における働きを積極的に担っていきたいとの抱負が述べられました。

あることが何かと話題に上ります。しかし、北海道教区は、笹森田鶴という方が私たちの主教にふさわしい方であり、信仰生活の苦楽を共にしつつ、教区に新しい風を送り込んでくださると信じたからお選びしたのです。私たちの選択に間違いはなかったと思える歩みは、すでに始まっています。主に感謝。

司祭コルベ
下澤 昌



主教団、来賓とともに



▽旭川聖マルコ教会

比較的雪解けの早い春となりました。

三日、礼拝後に棕櫚の十字架作り。六日、頌栄保育園は入園式。感染症対策のため平日に少人数で行われました。

一七日はイースター。久しぶりに聖歌が礼拝堂に響きわたりました。祝会の代わりのメッセージボードには、平和への祈りが多く貼られています。二四日の礼拝後に前日の主教接手式の報告がなされ、集会室では録画を見ながらそれぞれに新しい北海道教区に思いを巡らせました。換気の窓から吹く風が心地よい季節です。

▽岩見沢聖十字教会

四月は出会いの時です。

一六日、主教座聖堂で笹森田鶴師の主教接手式・就任式。

島山秀明兄が出席。聖公会初の女性の主教を私達はお支えし、お守りします。一〇月の主教巡回礼拝でお待ちしています。

八日、入園式。近年は保育園から参加しているせいか泣く子も少ないようです。親も子も希望溢れる日となりました。来週から保育開始です。

一〇日、復活日礼拝。池田亨司祭から戴くパンと葡萄酒を食する時、主と兄弟姉妹との一体感を感じます。私達は勝利者である主と歩みます。

▽釧路聖パウロ教会

▽厚岸聖オーガスチン教会

四月が忙しいのはこの教会にとつても同じ。当教会も例外ではありませんでした。

「お帰りのなさい、前田さん」頌栄保育園の前園長前田博美さんが四月一日付の人事異動で園長に復帰。保育園が新しい体制でスタートしました。

保育園や教会の建て替え問題を抱える中での異動。力強い

限りです。

四月一六日『聖木曜日の聖餐式』翌一七日は『聖金曜日(十字架の道行)』と『聖なる三日間』が続ぎ、聖パウロ教会では初めての体験。リモート礼拝が威力を發揮しました。

一六日には春田佳恵さんの尽力でここ二年中止していたイースターエッグ五〇個とお菓子を準備。

一七日は、コロナが高止まりしているにも拘らず、療養中の津田勉さんなども駆けつけ、盛大にイースターをお祝いしました。

二三日の主教接手式には吉野司祭と前田園長(保育園代表)、鳴海園長補佐(信徒代表)が出席。津田正子姉はリハビリ中です。主よみ恵みを。

▽小樽聖公会

四月一七日(日)の復活日は永谷司祭の司式・説教で聖餐式。礼拝堂の壁が雪害で損傷をうけているため、今年のイースター礼拝は集会室で行われました。追加の椅子をだすほどに多くの方が出席して

くださり、しっかりと換気を

しながらの礼拝となりました。礼拝後の祝会は残念ながら今年も行えませんでした。が、各々色とりどりのイースターエッグをいただいて帰りました。

現在礼拝堂は火災保険会社の鑑定結果待ちの状態ですが、一日も早い修復が待たれます。皆さまのお祈りにも感謝。

▽新冠聖フランシス教会

植松誠前主教さまが言っておられました「岡谷の信徒さんに、棕櫚の主日の礼拝は必ずお捧げすることを伝えました」と。移動祝日である復活日は絶対に守らなければなりませんから、月に二度の礼拝日の新冠では四月一〇日の礼拝は割愛ということになります。その代り一七日のイースターには、棕櫚の十字架とイースターエッグをみなさんに差し上げるつもりが、その十字架をウツカリ平取に置き忘れてきてしまい郵送と相成りました。でも、ご復活の讚美は声高らかでした。

▽帯広聖公会

十勝のコロナウイルス感染者数は依然多い状態ですが、復活前主日、受苦日礼拝、復活日を大野耕一さんからの「コロナ通信」を手引きしながら、少しずつ礼拝出席者は増えています。体重をくずされ入院された寺本先生は早々に退院されましたが、敦子夫人の叱咤激励が何よりの妙薬。笹森田鶴師の主教就任式を礼拝堂に設置されている大型画面を通して、広い本道を駆け巡られるお姿を想像しながら、身じろぎもせず二時間視聴。植松主教様への感謝と併せてお働きをお祈りしました。

▽稚内聖公会

晴天に恵まれた四月一七日、春の光を柔らかく反射する海面を左に見てオロロンラインを走る車は順調に北上。風車二八基が並ぶオトンルイ発電所を越えると、海に浮かぶ利尻富士がこちらに迫ってくる。舗装された一本道の外は、太古からの原野が今もある。

すっかり雪が融けて最北の教会にも春が訪れ、イースターの礼拝が捧げられました。本原さんは元気に歩いていらして、聖餐のお恵みに与りました。娘さんやお孫さんの近況を聞いていますと、あつという間に時が流れました。

▽札幌キリスト教会

四月三日、棕櫚の十字架を作る。一〇日、祝別された十字架を皆でいただく。一六日、GFSのイースターエッグ作り。夕には新しい復活のローソクに火を灯す。イースターを迎える喜びが静かに満ちる。そして迎えたイースター、山下慎二さんと佐藤節子さんが洗礼の恵みにあずかる。今年も愛餐会は、開けませんでしたが、手作りのお赤飯やお惣菜、ケーキやクッキーの販売が行われました。

二四日、新主教の初巡回。

イースターに洗礼を受けたお二人に加え、和田恵子さんが堅信の恵みにあずかる。礼拝後、笹森主教を歓迎し聖歌二八二番を皆で歌いました。

▽札幌聖ミカエル教会

冬の大雪が嘘のように消えてなくなりました。今年、復活日はやはり三回に分けて礼拝を行い、なんとこの日は主教按手、就任を控えた笹森田鶴主教被選者が司式者団に加わってくださいさるといふ、嬉しいお恵みがありました。計一二〇名の出席。笹森新主教の按手、就任おめでとございます。ご巡回を心待ちにしています。幼稚園は幼保連携型認定こども園に移行し、小さな赤ちゃんが加わり雰囲気

が大きく変わりました。一二日には入園式を行い、また先生の数も増え、新しい園舎が活気に満ちています。旧園舎の一部を新たな宣教の土台にすべく話し合いが始まりました。

▽新札幌聖ニコラス教会

上平司祭は今月から函館、今金の管理牧師として主日の奉仕に出かけるため、月一回のみ言葉の礼拝を再開。復活日は手作りのインテリア用イースターエッグとゆで卵、手作りマーメイドの献品を得てみんなの笑顔がこぼ

▽函館聖ヨハネ教会

四月二日、当教会の新管理牧師・上平更司祭を迎えて教会委員会を開催。翌日は藤井

▽平取聖公会

この冬の大雪のためか、平取ではコブシとエゾムラサキツツジが遅れて咲き、大型連休前に咲いたサクラが揃って街中も山も綺麗です。四月一七日のイースターの祭壇の花は保育園の保護者からいただいた胡蝶蘭が飾られました。

▽紋別聖マリヤ教会

紋別にもようやく春の日ざ

▽苦小牧聖ルカ教会

春の遅い苦小牧でも四月も末になれば、レンギョウやタシロポの黄色が一斉に顔をほころばせる。昨年

の赴任後初めての復活日礼拝を行う松井司祭、ちょうど一年が過ぎて、司祭も信徒もまだまだ手探り。慣れるのではなく、創造しないと成長はない。

主教按手式に糸田さんが出席。当日は礼拝堂でのライブビューイングを初めて実施。笹森主教の目に北海道はどのように映っているのだろうか。食べ物も気になるところだが、やはり信徒の歩き方か。

▽平取聖公会

この冬の大雪のためか、平取ではコブシとエゾムラサキツツジが遅れて咲き、大型連休前に咲いたサクラが揃って街中も山も綺麗です。四月一七日のイースターの祭壇の花は保育園の保護者からいただいた胡蝶蘭が飾られました。

▽有珠聖公会

四月一七日、復活日の聖餐式を捧げる。札幌に転居された茅野さん夫妻も出席。礼拝後は、お茶を共にしてイースターの喜びを分かち合いましたが、専ら

▽平取聖公会

この冬の大雪のためか、平取ではコブシとエゾムラサキツツジが遅れて咲き、大型連休前に咲いたサクラが揃って街中も山も綺麗です。四月一七日のイースターの祭壇の花は保育園の保護者からいただいた胡蝶蘭が飾られました。

▽紋別聖マリヤ教会

紋別にもようやく春の日ざ

▽苦小牧聖ルカ教会

春の遅い苦小牧でも四月も末になれば、レンギョウやタシロポの黄色が一斉に顔をほころばせる。昨年

の赴任後初めての復活日礼拝を行う松井司祭、ちょうど一年が過ぎて、司祭も信徒もまだまだ手探り。慣れるのではなく、創造しないと成長はない。

主教按手式に糸田さんが出席。当日は礼拝堂でのライブビューイングを初めて実施。笹森主教の目に北海道はどのように映っているのだろうか。食べ物も気になるところだが、やはり信徒の歩き方か。

▽平取聖公会

この冬の大雪のためか、平取ではコブシとエゾムラサキツツジが遅れて咲き、大型連休前に咲いたサクラが揃って街中も山も綺麗です。四月一七日のイースターの祭壇の花は保育園の保護者からいただいた胡蝶蘭が飾られました。

▽有珠聖公会

四月一七日、復活日の聖餐式を捧げる。札幌に転居された茅野さん夫妻も出席。礼拝後は、お茶を共にしてイースターの喜びを分かち合いましたが、専ら

▽平取聖公会

この冬の大雪のためか、平取ではコブシとエゾムラサキツツジが遅れて咲き、大型連休前に咲いたサクラが揃って街中も山も綺麗です。四月一七日のイースターの祭壇の花は保育園の保護者からいただいた胡蝶蘭が飾られました。

▽紋別聖マリヤ教会

紋別にもようやく春の日ざ

▽苦小牧聖ルカ教会

春の遅い苦小牧でも四月も末になれば、レンギョウやタシロポの黄色が一斉に顔をほころばせる。昨年

の赴任後初めての復活日礼拝を行う松井司祭、ちょうど一年が過ぎて、司祭も信徒もまだまだ手探り。慣れるのではなく、創造しないと成長はない。

主教按手式に糸田さんが出席。当日は礼拝堂でのライブビューイングを初めて実施。笹森主教の目に北海道はどのように映っているのだろうか。食べ物も気になるところだが、やはり信徒の歩き方か。

▽平取聖公会

この冬の大雪のためか、平取ではコブシとエゾムラサキツツジが遅れて咲き、大型連休前に咲いたサクラが揃って街中も山も綺麗です。四月一七日のイースターの祭壇の花は保育園の保護者からいただいた胡蝶蘭が飾られました。

▽有珠聖公会

四月一七日、復活日の聖餐式を捧げる。札幌に転居された茅野さん夫妻も出席。礼拝後は、お茶を共にしてイースターの喜びを分かち合いましたが、専ら

▽平取聖公会

この冬の大雪のためか、平取ではコブシとエゾムラサキツツジが遅れて咲き、大型連休前に咲いたサクラが揃って街中も山も綺麗です。四月一七日のイースターの祭壇の花は保育園の保護者からいただいた胡蝶蘭が飾られました。

▽紋別聖マリヤ教会

紋別にもようやく春の日ざ

▽苦小牧聖ルカ教会

春の遅い苦小牧でも四月も末になれば、レンギョウやタシロポの黄色が一斉に顔をほころばせる。昨年

しが降りそそぎ桜、つつじが咲いてきました。四月に入り仙台キリスト教会より、越山健蔵司祭が赴任され、牧師と園長を兼任されます。明るくたのしい牧師さんです。イースターは紋別でもコロナが多く出ていましたので、食事はやめることにしました。

は特大のクロッカスがお出迎え。無事着任された笹森主教様の巡回礼拝でお会いできる時を楽しみにしております。

一〇日は聖餐式終了後、聖書輪読会を行い、一五日の受苦日は午後二時より礼拝。その前に教会掃除、復活日準備をしました。

任式に教会代表高木和枝さん参列し、祝意を表す。

心より感謝。主教按手式には司祭が出席、素晴らしい礼拝に感動しました。ガブリエル岡嘉彦さんの逝去一年記念式が二六日に行われ、偲ぶ時には感謝と感動でいっぱいでした。

四月一日、種の祝福礼拝。今月より管理牧師としてお世話になる上平司祭、引き続きお世話になりまくりの藤井司祭のお二人に祝福していただきました。両先生の道中の安全をお祈りしていきます。

四月三日、教会委員と保育園の運営委員会開催。チャプレンから四月いっぱい保育園の子ども礼拝・光の子の時間の中止の報告あり。八日、道北牧師会の電信映像会議。

復活日は一七日午後二時より聖餐式で、祝会は中止です。二三日の主教授任式には田中孝子さんが出席しました。

一〇日、棕櫚をかざしながら入堂して来た司祭より棕櫚の十字架をいただき、一五日の受苦日には共に十字架の道行を黙想し、復活日には一四名で主のよみがえりをお祝い致しました。二三日の主教授按手式には和田弓さんと司祭が出席、マリア・グレイス笹森田鶴主教の誕生に心より感謝を捧げ、素晴らしい礼拝に感動致しました。

花壇にはクロッカスの花がさやかに輝いています。

四月三日、教会委員と保育園の運営委員会開催。チャプレンから四月いっぱい保育園の子ども礼拝・光の子の時間の中止の報告あり。八日、道北牧師会の電信映像会議。

一〇日、棕櫚の主日、我らの礼拝で主イエスの天城のエルサレム入城を歓呼の声でお迎えます。一七日復活祭。祝会をやめて、お祝いにお菓子を教会から贈り物とする。保育園はコロナ禍で休園となる。職員による必死の衛生防衛にもかわらず、ついに罹患。二三日、新主教の按手式・就

一〇日、棕櫚をかざしながら入堂して来た司祭より棕櫚の十字架をいただき、一五日の受苦日には共に十字架の道行を黙想し、復活日には一四名で主のよみがえりをお祝い致しました。二三日の主教授按手式には和田弓さんと司祭が出席、マリア・グレイス笹森田鶴主教の誕生に心より感謝を捧げ、素晴らしい礼拝に感動致しました。

あつたかな春の網走です。

四月三日(日)、大斎節第五主日聖餐式。植松誠主教さま、来たる。「もう、現職の北海道主教ではないから、一礼拝者として」と申し出られ、会衆席にてご出席。聖餐式後、挨拶をいただき。北海道教区主教として最初の巡回教会、聖マーガレット教会の思い出にふれられ、感謝にみちたことばをいただき。出席者一同、別れを惜しみつつも、岡谷でのお働きに祝福を祈る。

あの大雪が夢であったかと錯覚するような四月。名寄の藤井さん夫妻が教会に来られ、電器屋を営む法さんが牧師館の暖房や給湯設備の点検整備を全て担って下さり感謝です。

イースターは大町美幸さんもみえて、八名で主のご復活を祝いました。昼食のお弁当とケーキにイースターエッグが添えられました。

一〇日、棕櫚の主日、我らの礼拝で主イエスの天城のエルサレム入城を歓呼の声でお迎えます。一七日復活祭。祝会をやめて、お祝いにお菓子を教会から贈り物とする。保育園はコロナ禍で休園となる。職員による必死の衛生防衛にもかわらず、ついに罹患。二三日、新主教の按手式・就

あつたかな春の網走です。

四月三日(日)、大斎節第五主日聖餐式。植松誠主教さま、来たる。「もう、現職の北海道主教ではないから、一礼拝者として」と申し出られ、会衆席にてご出席。聖餐式後、挨拶をいただき。北海道教区主教として最初の巡回教会、聖マーガレット教会の思い出にふれられ、感謝にみちたことばをいただき。出席者一同、別れを惜しみつつも、岡谷でのお働きに祝福を祈る。

イースターは大町美幸さんもみえて、八名で主のご復活を祝いました。昼食のお弁当とケーキにイースターエッグが添えられました。

イースターは大町美幸さんもみえて、八名で主のご復活を祝いました。昼食のお弁当とケーキにイースターエッグが添えられました。

一〇日、棕櫚の主日、我らの礼拝で主イエスの天城のエルサレム入城を歓呼の声でお迎えます。一七日復活祭。祝会をやめて、お祝いにお菓子を教会から贈り物とする。保育園はコロナ禍で休園となる。職員による必死の衛生防衛にもかわらず、ついに罹患。二三日、新主教の按手式・就

あつたかな春の網走です。

四月三日(日)、大斎節第五主日聖餐式。植松誠主教さま、来たる。「もう、現職の北海道主教ではないから、一礼拝者として」と申し出られ、会衆席にてご出席。聖餐式後、挨拶をいただき。北海道教区主教として最初の巡回教会、聖マーガレット教会の思い出にふれられ、感謝にみちたことばをいただき。出席者一同、別れを惜しみつつも、岡谷でのお働きに祝福を祈る。

イースターは大町美幸さんもみえて、八名で主のご復活を祝いました。昼食のお弁当とケーキにイースターエッグが添えられました。

イースターは大町美幸さんもみえて、八名で主のご復活を祝いました。昼食のお弁当とケーキにイースターエッグが添えられました。

一〇日、棕櫚の主日、我らの礼拝で主イエスの天城のエルサレム入城を歓呼の声でお迎えます。一七日復活祭。祝会をやめて、お祝いにお菓子を教会から贈り物とする。保育園はコロナ禍で休園となる。職員による必死の衛生防衛にもかわらず、ついに罹患。二三日、新主教の按手式・就

あつたかな春の網走です。

四月三日(日)、大斎節第五主日聖餐式。植松誠主教さま、来たる。「もう、現職の北海道主教ではないから、一礼拝者として」と申し出られ、会衆席にてご出席。聖餐式後、挨拶をいただき。北海道教区主教として最初の巡回教会、聖マーガレット教会の思い出にふれられ、感謝にみちたことばをいただき。出席者一同、別れを惜しみつつも、岡谷でのお働きに祝福を祈る。

イースターは大町美幸さんもみえて、八名で主のご復活を祝いました。昼食のお弁当とケーキにイースターエッグが添えられました。

イースターは大町美幸さんもみえて、八名で主のご復活を祝いました。昼食のお弁当とケーキにイースターエッグが添えられました。

一〇日、棕櫚の主日、我らの礼拝で主イエスの天城のエルサレム入城を歓呼の声でお迎えます。一七日復活祭。祝会をやめて、お祝いにお菓子を教会から贈り物とする。保育園はコロナ禍で休園となる。職員による必死の衛生防衛にもかわらず、ついに罹患。二三日、新主教の按手式・就

あつたかな春の網走です。

四月三日(日)、大斎節第五主日聖餐式。植松誠主教さま、来たる。「もう、現職の北海道主教ではないから、一礼拝者として」と申し出られ、会衆席にてご出席。聖餐式後、挨拶をいただき。北海道教区主教として最初の巡回教会、聖マーガレット教会の思い出にふれられ、感謝にみちたことばをいただき。出席者一同、別れを惜しみつつも、岡谷でのお働きに祝福を祈る。